

要 望 書

藤岡市市長 新井利明様

2003年1月20日

市内の笹川流域には昔からの田園風景が部分的に残されており、これを生存基盤とする市天然記念物のヤリタナゴ・マツカサガイ等が県内では唯一、自然状況で生息しています。また植物においても、多野藤岡地区では絶滅とされているハンゲショウ、ミゾコウジュ、カワヂシヤなど（水辺の草本）県のレッドデータブック掲載種が少なからず生存しています。

私たちはこのような水辺環境が豊かな藤岡に住む市民として、笹川流域全体を市民生活と調和する「ふるさとの小川」として再生させ、自然の中で野生の生物と遊び・学ぶ「輝く子供の顔があふれる郷土 藤岡」にしていきたいと願うものであります。

笹川の源流域付近において、県営ほ場整備事業（藤岡南部地区）が進捗している状況にあります。そのために以下のことを要望するとともに、同時にその実現のために主体的に協力する意志と用意がありますことを表明いたします。


- 1) 藤岡南部ほ場整備事業のなかで、市天然記念物マツカサガイ（ヤリタナゴの産卵母貝）等の保護、保全を図って頂きたい。


藤岡南部地区ほ場整備事業が始まり、市天然記念物


マツカサガイが絶滅の危機に瀕すると案じておりましたが、彼らの生息に適する環境水路を創り保護保全が図られることとなり、非常に喜ばしいことと思っております。是非、環境水路を彼らの生息に適した環境とすることを主目的として考えていただきますよう、要望いたします。


2) そのために問題となる水路の維持管理作業(主に除草・土あげ作業)について、主体的に関わる意志があることを表明いたします。


市民として行政に依存するのみではなく、自らも「輝く子供の顔があふれる郷土 藤岡」の創造を目指して努力する所存であります。



「カワゲラの会」代表 掛川優子 
藤岡市白石 294-4

学校法人 愛光学園 サムエル幼稚園
理事長 水沼武考 
藤岡市藤岡 260-2

社会福祉法人 地の協会 みどり保育園
園長 川上清樹 
藤岡市藤岡 445-3

子どもと青少年の心を支える
NPO法人 ラポールの会
理事長 田中悦二 
藤岡市藤岡 295

三波川ふるさと児童館「あやべの学校」
校長 山崎 茂 
多野郡鬼石町三波川 1869-2

日野の自然を守る会
藤岡市下日野 1749-2
会長 小嶋博 

日野の自然を守る会
小嶋山
〒975-0201 福島県藤岡市下日野
電話 0274(28)0